

2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）



2024年11月14日

上場会社名 ランサーズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4484 URL <https://www.lancers.co.jp>
 代表者（役職名）代表取締役社長 CEO（氏名）秋好 陽介
 問合せ先責任者（役職名）執行役員 コーポレート本部長（氏名）安川 久美子（TEL）03(5774)6086
 半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家、証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	2,256	2.0	50	—	51	—	47	—
2024年3月期中間期	2,211	△1.4	△2	—	△1	—	△11	—

（注）包括利益 2025年3月期中間期 47百万円（—%） 2024年3月期中間期 △11百万円（—%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	2.93	2.74
2024年3月期中間期	△0.74	—

（注）2024年3月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり中間純損失であるため、記載していません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	3,193	1,229	38.5
2024年3月期	3,517	1,181	33.6

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 1,229百万円 2024年3月期 1,181百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年3月期	—	0.00			
2025年3月期（予想）			—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,036	10.1	100	32.6	110	36.4	92	△17.3	5.66

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期中間期	16,245,228株	2024年3月期	16,245,228株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	37株	2024年3月期	37株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年3月期中間期	16,245,191株	2024年3月期中間期	15,839,378株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社が約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.3「1. 当中間期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当中間期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境が改善するなかで、景気回復の兆しがみられた一方、海外での紛争や円安・物価高により金融市場の見通しは未だ不透明な状況が続いております。当社グループが事業展開しているインターネット関連市場は、技術革新や顧客ニーズの変化のスピードが非常に早いことが特徴です。特に、生成AIの普及によって、文章作成や画像制作など一部のカテゴリを中心に個人顧客を中心としたニーズの変化が生じており、当該変化に柔軟に対応していく必要があります。また、フリーランス人口の増加を受けて市場での競争が激化しており、より付加価値の高いサービスの構築など十分な差別化が一層求められるようになっていきます。

その一方で、新型コロナウイルス感染症を契機に大きく変容した労働者の働き方は継続しております。2023年1月に当社グループが実施した「働き方調査2023」(注)によると、フリーランスの約4割、副業者の約6割が2020年以降に活動を開始しており、継続的に増加しております。また、企業側の人手不足の問題も引き続き課題となっている状況です。そうした状況下で、デジタルスキルを習得したフリーランスや副業人材の活躍がより一層期待されるとともに、企業側の外部人材の受け入れや多様な働き方ニーズへの対応が進み、人材の流動性が増していくことが予測され、今後更なる市場拡大が見込まれることと想定しております。

このような環境において、当社グループは、オンライン上でクライアント(企業)とランサー(個人)を直接マッチングするサービスである「Lancers」、クライアントのエンジニア・デザイナー・マーケター等の求人ニーズに対応して、エージェントを介してフリーランス人材を紹介するサービスである「Lancers Agent」、同様の形でコンサルタントを紹介する「Professionals On Demand」を中心とするマッチング事業の成長加速に注力しております。また、労働者の働き方および企業側の人材調達手法の多様化に対して当社の提供価値拡大に繋がる新規投資を推進しております。

マッチング事業においては、組織体制の強化による営業生産性の改善を受け、営業人材の採用に関する投資を行いました。今後も営業生産性を高めながら営業組織を拡大していくことで事業成長に努めてまいります。また、生成AI等の環境変化を受けて新しく成長する領域においては、AI関連カテゴリの増設やAI人材への認証バッジの付与などプロダクトのアップデートを実施いたしました。

提供価値拡大の投資においては、新たに開発受託事業を立ち上げ、エンジニアの採用に関する投資を進めております。フリーランスと社員のチーム提供により大手企業への価値提供を強化し、営業生産性の向上を図ってまいります。

以上の結果、当中間連結会計期間における売上高は2,256,535千円(前年同期比2.0%増)となり、営業利益は50,120千円(前年同期は営業損失2,597千円)、経常利益は51,824千円(前年同期は経常損失1,742千円)、親会社株主に帰属する中間純利益は47,657千円(前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失11,666千円)となりました。

なお、当社グループはプラットフォーム事業の単一セグメントのため、セグメントごとの記載はしていません。

(注) 「働き方調査2023」は、当社グループが「Lancers」にランサー(受注者)として登録している個人(フリーランス)を対象に、2023年1月30日～2月5日までの期間に実施した調査であり、209名からの回答を得てまとめたものです。

(2) 財政状態に関する説明

財政状態の分析

(資産)

当中間連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末と比較して324,131千円減少し、3,193,365千円となりました。これは主に、流動資産において現金及び預金が149,219千円、売掛金が64,184千円、未収入金が37,257千円減少したこと等によるものです。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債につきましては、前連結会計年度末と比較して371,789千円減少し、1,964,071千円となりました。これは主に、流動負債において預り金が87,171千円、買掛金が68,859千円、未払金が67,159千円減少したこと等によるものです。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産につきましては、前連結会計年度末と比較して47,657千円増加し、1,229,293千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益の計上により利益剰余金が47,657千円増加したことによるものです。

キャッシュ・フローの分析

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して152,706千円減少し、1,771,505千円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、92,077千円の支出（前年同期は112,469千円の収入）となりました。これは主に、預り金の減少額が87,171千円あったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、25,428千円の支出（前年同期は51,050千円の支出）となりました。これは主に、ソフトウェア開発などにかかる投資支出が25,428千円あったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、35,200千円の支出（前年同期は12,586千円の支出）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出35,200千円があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月14日に公表した内容から変更はありません。なお、当該業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって異なる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,877,708	1,728,489
売掛金	450,602	386,418
仕掛品	—	773
前払費用	32,466	21,847
未収入金	286,976	249,718
その他	47,687	43,120
貸倒引当金	△19,672	△17,179
流動資産合計	2,675,769	2,413,187
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,319	2,181
工具、器具及び備品（純額）	309	213
有形固定資産合計	3,629	2,395
無形固定資産		
ソフトウェア	306,915	317,836
ソフトウェア仮勘定	59,257	16,461
のれん	358,896	334,876
その他	356	333
無形固定資産合計	725,425	669,507
投資その他の資産		
敷金及び保証金	35,557	34,971
繰延税金資産	77,115	73,304
その他	0	0
投資その他の資産合計	112,673	108,275
固定資産合計	841,727	780,178
資産合計	3,517,496	3,193,365

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	299,976	231,116
1年内返済予定の長期借入金	67,080	67,080
未払金	380,695	313,536
未払費用	130,739	82,696
未払法人税等	41,930	1,398
未払消費税等	57,436	26,976
預り金	692,335	605,164
賞与引当金	65,026	55,014
役員賞与引当金	—	2,618
その他	6,290	19,320
流動負債合計	1,741,510	1,404,921
固定負債		
新株予約権付社債	300,000	300,000
長期借入金	294,350	259,150
固定負債合計	594,350	559,150
負債合計	2,335,860	1,964,071
純資産の部		
株主資本		
資本金	120,275	55,000
資本剰余金	1,839,458	1,239,788
利益剰余金	△778,098	△65,495
自己株式	△36	△36
株主資本合計	1,181,599	1,229,257
新株予約権	36	36
純資産合計	1,181,635	1,229,293
負債純資産合計	3,517,496	3,193,365

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	2,211,401	2,256,535
売上原価	1,115,197	1,239,242
売上総利益	1,096,204	1,017,293
販売費及び一般管理費	1,098,802	967,172
営業利益又は営業損失(△)	△2,597	50,120
営業外収益		
営業債務消滅益	1,653	3,308
助成金収入	1,250	—
その他	574	723
営業外収益合計	3,478	4,031
営業外費用		
支払利息	2,222	2,123
その他	400	204
営業外費用合計	2,623	2,328
経常利益又は経常損失(△)	△1,742	51,824
特別損失		
構造改革費用	8,724	—
特別損失合計	8,724	—
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△10,467	51,824
法人税、住民税及び事業税	1,325	355
法人税等調整額	△126	3,811
法人税等合計	1,199	4,166
中間純利益又は中間純損失(△)	△11,666	47,657
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△11,666	47,657

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益又は中間純損失(△)	△11,666	47,657
中間包括利益	△11,666	47,657
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△11,666	47,657

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△10,467	51,824
減価償却費	51,033	55,521
減損損失	3,524	—
のれん償却額	24,020	24,020
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,433	△2,492
受取利息及び受取配当金	△4	△240
支払利息	2,222	2,123
売上債権の増減額(△は増加)	132,773	64,184
前払費用の増減額(△は増加)	19,304	10,619
未収入金の増減額(△は増加)	21,827	37,257
買掛金の増減額(△は減少)	△66,088	△68,859
未払金の増減額(△は減少)	△71,777	△64,120
未払費用の増減額(△は減少)	15,316	△48,043
未払消費税等の増減額(△は減少)	7,659	△30,460
預り金の増減額(△は減少)	△2,591	△87,171
賞与引当金の増減額(△は減少)	△15,582	△10,012
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	2,174	2,618
その他の資産の増減額(△は増加)	△3,112	892
その他の負債の増減額(△は減少)	△5,509	△6,571
小計	102,288	△68,911
利息及び配当金の受取額	4	240
利息の支払額	△2,222	△2,123
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	12,398	△21,284
営業活動によるキャッシュ・フロー	112,469	△92,077
投資活動によるキャッシュ・フロー		
無形固定資産の取得による支出	△51,250	△25,428
その他	200	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△51,050	△25,428
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△20,090	△35,200
新株予約権の行使による株式の発行による収入	7,504	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,586	△35,200
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	48,832	△152,706
現金及び現金同等物の期首残高	1,348,779	1,924,211
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,397,612	1,771,505

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年6月28日開催の定時株主総会決議に基づき、2024年8月31日付で減資の効力が発生いたしました。これにより、資本金が65,275千円、資本準備金が599,669千円それぞれ減少し、この減少額全額をその他資本剰余金へ振り替えております。また、減資の効力発生を条件に、その他資本剰余金664,945千円を繰越利益剰余金へ振り替えることにより、欠損填補いたしました。この結果、当中間連結会計期間末において資本金が55,000千円、資本剰余金が1,239,788千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。